

キャラクター名
紺野 木綿季 (この ゆうき)

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン		ワークス	ゼノスエージェント	カヴァー	ゼノス
	エンジェルハイロウ					
オプション			年齢	15	性別	女
覚醒	犠牲	衝動	闘争		初期侵食率	36 %
出自	姉妹	経験	闘いの日々		邂逅	師匠

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	24
肉体	1		0			1	行動値	24
感覚	4	1	0			5	(非装備時)	24
精神	2		0			2	戦闘移動	29
社会	1		0			1	全力移動	58

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	10		射撃	1		RC	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:ゼノス	4	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
刀	白兵	1r+9	3	5		黒曜石で作られた黒い刀剣。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ:ゼノス	
コネ:裏社会	
ウェポンケース	
刀	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイムス	消費
ロイス:賢者の石(レネグイドクリスタル)	P	N		
シナリオロイス:	P	N		
固定ロイス: 藍子	P 慈愛	N 不安		
:ミラ・ラインハルト	P 信頼	N 憎悪		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 10 残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
1: コンセ: エンハイ上限3	2	2	メジャ	-	-	シンドローム	下限7	
効果: c-Lv								
2: 光の舞踏	上限1	1	2	メジャ/リア	武器	-	自動	白兵
効果: 感覚で振れる								
3: 電光石火	上限3	3	3	メジャ/リア	-	-	-	肉体 感覚
効果: 判定のダイス数+Lv+1 1DのHPを失う								
4: 切り払い	上限1	1	1	リア	至近	自身	対決	白兵
効果: この判定で、ドッジできる。								
5: 獅子奮迅	上限3	1	4	メジャー	武器	範囲(選択)	対決	白兵
効果: 白兵の対象変更。 1シナリオLv回								
6: 先手必勝	上限5	4	-	常時	至近	自身	自動	-
効果: 行動値+LV*3 浸食でLv上がらない。								
7: リミットリリース上限1	1	6	オート	至近	自身	自動	100↑	
効果: c-1 下限5 1シナリオ1回								
8: リフレ:ハヌ	上限3	2	2	リア	-	-	シンドローム	下限7
効果: c-Lv								
9: 激情の早鐘	上限3	1	4	オート	至近	自身	自動	100↑
効果: c-1。戦闘不能から回復したときに使用。1シLv回								
10: 幻影の騎士団	上限3	3	2	セットアップ	至近	自身	自動	-
効果: ラウンド間Lv*3 攻撃受けたら解除								
11: 波紋の方陣	2	3	オート	視界	単体	自動	80↑	
効果: -Lv+1D 自分を対象にできない 1R1回								
メモリー: 藍子	1							
効果:								
軽行	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 身軽になり壁や水面を走れる。G								

・覚醒・
家族構成として、父、母、妹、ユウキの四人で暮らしていた。
両親は、傭兵の中でも才能に溢れ、名の知れた、傭兵のオーヴァードであった。
だが同時に、なぜ組織に加入しないのかという声も数多くあった。
ユウキは覚醒する前から日常の裏側のことは知っていた。もちろん両親のことも。だが、妹はそれらを知らない。

ある日、両親が殺された。それをユウキは目の当たりにした。そして、両親を殺した何者かはこちらに歩み寄ってきていた。
その時にユウキはオーヴァードに「覚醒」した。
守ってくれていた家族「両親」がいなくなったが、たった一人守るべき家族「妹」がいた。
、極限まで自分が追い詰められたことにより、ユウキは「覚醒」した。

その後、相手に立ち向かったが数分後に負けてしまう。だが、両親の知人らが助けてくれて、その場はしのげた。
(記憶が曖昧で相手がどんな奴だったかは詳しく覚えていないし、相手がどんな目的だったのかわかってない。)

・ゼノスへの加入・
ユウキは両親と同じく傭兵として生きていた。
稀に自分の住んでいる家に何者かが襲撃してくることがあったが毎度返り討ちにしてきた。
そいつらに目的を聞いても答えることはなく、襲ってくる理由は謎のままである。
そんなある夜、一人の見知らぬ少女が家を訪ねてきた。彼女の姿を見た瞬間にその強大なレネグイドを感じ衝動を抑えきれず暴走して、そのまま「闘争」をする。
だが、その少女には手が及ばず敗北する。
だが、少女はユウキに対して有為を感じ、自分たちに協力してほしいと頼む。
ユウキは、妹の安全と保護を約束させ少女に協力することにした。

